

動 向 調 査

令和元年 7 月～9 月期

●調査依頼 5,261 社 ●有効回答企業 1,207 社

信用保証をご利用いただいている皆さまの景況・金融動向を把握するために、国の機関である日本政策金融公庫と共同で「信用保証利用企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。ここでは東京都内信用保証利用企業の令和元年 7 月～9 月期の調査結果についてお知らせします。

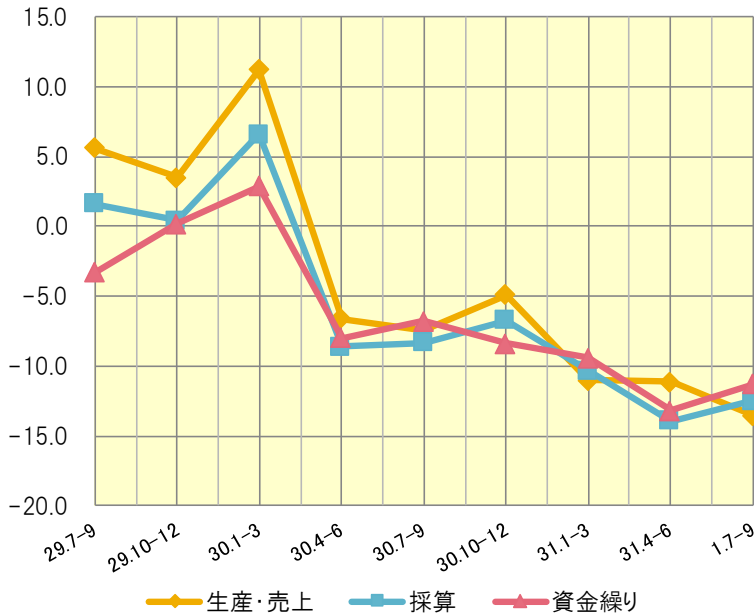
景気動向指数DIとは

景気動向指数DIとは、「好転した企業の割合」から「悪化した企業の割合」を引いて算出するもので、「好転」傾向と「悪化」傾向のどちらが強いのか、いわば綱引きをして景気動向を判断する指数です。また、このデータは「季節調整値」を利用しています。この季節調整値は、季節商品等の影響などの季節的な要因を取り除いた景気動向を判断するための数値です。

[概 況]

都内信用保証利用企業の生産・売上はやや悪化したが、採算、資金繰りについてはやや改善し、先行きについては持ち直しの見込み。

【「生産・売上」「採算」「資金繰り」総合値グラフ】



◎総合

今期(令和元年 7 月～9 月期)調査による景気動向指数(総合値)は、「生産・売上」が前期比-2.4 ポイントの▲13.5、「採算」が前期比+1.4 ポイントの▲12.5、「資金繰り」が前期比+1.9 ポイントの▲11.3 となり、「生産・売上」はやや悪化したものの、「採算」、「資金繰り」はやや改善した。

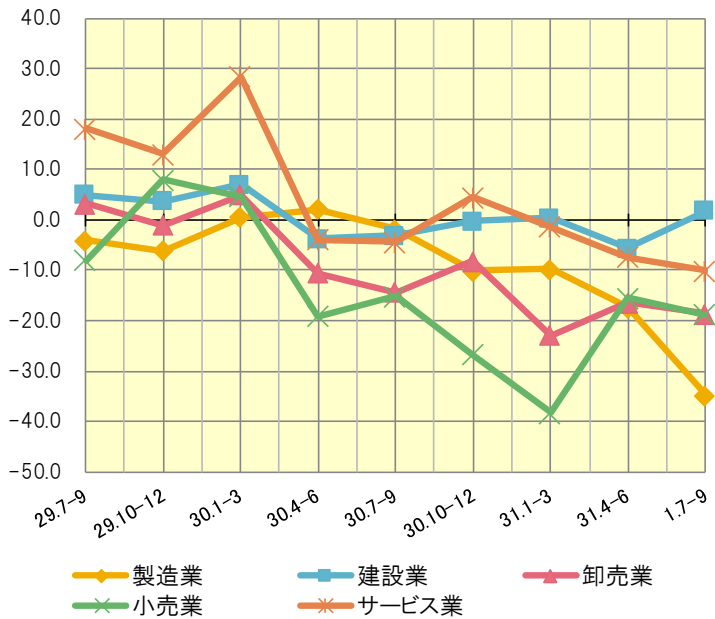
今後 3 か月の予測値(来期予測)は、「採算」はやや悪化、「資金繰り」は悪化の見込みだが、「生産・売上」は横ばいを見込んでいる。

「生産・売上」「採算」「資金繰り」実績・予測値(総合)

	生産・売上	採算	資金繰り
前期末予測値	1.9	-3.1	-9.4
今期実績	-13.5	-12.5	-11.3
来期予測	-0.1	-3.8	-7.5

●生産・売上

【業種別「生産・売上」グラフ】



今期の生産・売上 DI(総合値)は▲13.5(前期比-2.4ポイント)となり、やや悪化した。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業においてマイナス値となったが、建設業についてはプラス値に転じた。

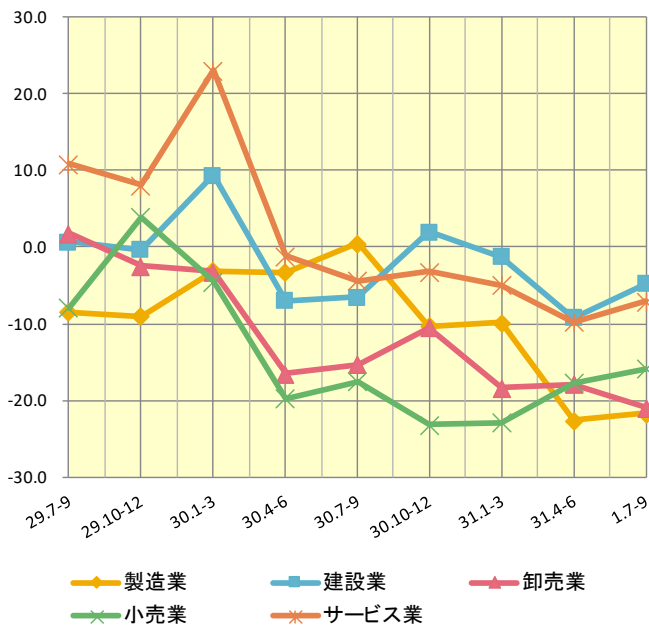
来期は製造業、卸売業、小売業においてマイナス値予測となっているが、建設業は 2.0、サービス業は 6.4 とプラス値予測となっている。

業種別「生産・売上」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-12.4	4.2	1.3	-3.4	7.6	1.9
今期実績	-34.8	1.8	-18.7	-18.8	-10.1	-13.5
来期予測	-3.3	2.0	-6.0	-4.9	6.4	-0.1

●採算

【業種別「採算」グラフ】



今期の採算 DI(総合値)は▲12.5(前期比+1.4ポイント)と、やや改善した。

業種別では、全ての業種においてマイナス値であったが、建設業は前期比+4.4ポイント、サービス業は前期比+2.7ポイント、小売業は+1.8ポイントとやや改善した。

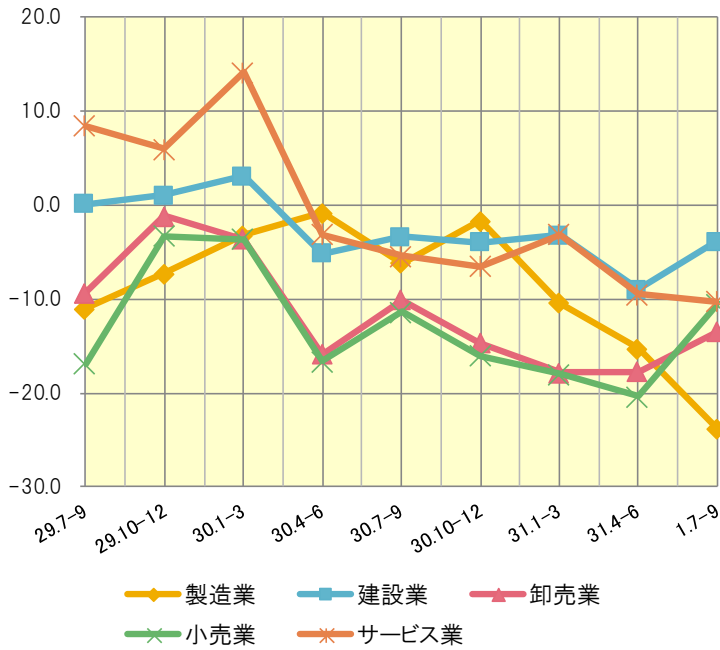
来期は製造業、建設業、卸売業、小売業についてはマイナス値予測となっているが、サービス業についてはプラス値に転じる予測となっている。

業種別「採算」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-14.5	-1.9	-5.6	-10.2	4.8	-3.1
今期実績	-21.7	-4.8	-21.0	-15.9	-7.1	-12.5
来期予測	-7.1	-3.0	-8.0	-10.3	3.0	-3.8

● 資金繰り

【業種別「資金繰り」グラフ】



今期の資金繰り DI(総合値)は▲11.3(前期比+1.9ポイント)と、やや改善した。

業種別では、製造業は前期比-8.5ポイントと悪化したが、建設業(前期比+5.1ポイント)と小売業(前期比+9.8ポイント)は改善し、卸売業は前期比+4.2ポイントとやや改善した。

来期も、全ての業種においてマイナス値予測となっているが、製造業、卸売業、サービス業についてはマイナス幅の縮小を見込んでいる。

業種別「資金繰り」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-19.3	-3.1	-14.3	-20.1	-2.2	-9.4
今期実績	-23.8	-3.9	-13.5	-10.6	-10.3	-11.3
来期予測	-11.8	-7.6	-9.4	-11.4	-2.7	-7.5